

いきいきとした町づくりをめざして

議会だより

からうら

No. 35

2006.4.30 発行

30億2500万円の
18年度予算を可決

金比羅堤防修復の陳情を採択

②

④

火災警報器設置義務づけ

新町長の
政治姿勢を問う

元気が一番「私阪神 妻巨人」

⑤

⑥

⑭



横瀬保育所 入所式

30億2,500万円

約31億 3,200万円

3月定例会

増額した生活関連予算の主なもの

乳幼児医療費

1,044万円 (前年度516万円)

町単道路改良工事請負費

3,500万円 (前年度3,000万円)

横小体育館耐震補強工事費

2,517万円 (前年度0円)

特別会計の予算

国民健康保険	7億5,246万円
老人保健	8億7,058万円
介護保険	6億3,726万円
勝浦病院	8億 300万円
簡易水道	3,549万円
農業集落排水	2,330万円
住宅新築資金	993万円



耐震補強される横小体育館

十八年度予算を可決

三月定例会は、八日から二十四日までの十七日間開かれ、十七年度補正予算、十八年度一般会計予算等を全会一致で可決、国民健康保険特別会計予算と課設置条例の一部を改正する条例は、討論が行われ、賛成多数で可決しました。

一般質問には八議員が登壇し、新町長の政治姿勢などを中心に論戦が展開されました。



就学前までの医療費を無料化

一般会計

前年比
8.4%減

特別会計

前年比
3%減

議案に対する主な質疑

問 前町長が明言した通り、十八年度は町村会人権対策特別会計負担金を計上していないが、町村会から要請があっても補正は組まないと断言できるか。

答 町長 補正予算を組む考えはない。

問 職員の昇給は、勤務成績に応じ決定すべきと国から方針が示されているが、町長・課長で正しい勤務評定ができるのか。

答 町長 人が人を評価するのは難しいが、内部で十分協議して正しい評価を行い、仕事に意欲を燃やせるような体制を確立したい。

問 国保税を引き下げると、国からの特別調整交付金一千万円をカットされるのではないか。

答 税務課長 国保税を引き下げ単年度赤字になれば特別調整交付金の基準から外れることになるが、数ある基準の一つであり、交付が受けられなくなると思っていない。

問 国民文化祭勝浦町実行委員会負担金百七万円の内容は。

答 教育委員会事務局長 プレイイベントとして今山農村舞台と人形会館で花と人形inフェスタを予定している。

討論・採決

◎課の統合について

現在の六課を総務税務課、産業建設課、住民課、福祉課の四課にする条例改正が提案され、中西議員が反対、福徳議員が賛成の討論を行い、採決の結果、賛成九人、反対一人で原案どおり可決しました。

◎国民健康保険税の引き下げについて

繰越金が増えたことから、保険税を七年間で一億円引き下げる提案があり、中西議員が反対、国清議員が賛成の討論を行い、採決の結果、賛成九人、反対一人で原案どおり可決しました。

金比羅堤防修復に関する 陳情を採択



中角区長から生名谷川河口から下流の勝浦川堤防の危険箇所について、県河川課へ調査、補修申し入れの陳情を採択しました。

ケーブルテレビのみの加入も できる料金制度への見直しを 求める請願を不採択

勝浦町インターネット・ケーブルテレビ事業を考える会代表の遠藤利一氏から提出された「インターネットは利用しない、テレビだけ見ることができればいい」という世帯が加入できる制度への見直しの請願は、補助事業の内容から外れた趣旨となつているので不採択としました。

改正された条例の主なもの

★火災予防条例を改正する条例

平成二十三年までに個人住宅に火災警報器の設置を義務付けるなど。

★乳幼児医療費の助成条例の一部を改正する条例

医療費無料化を今までの四歳から六歳に引き上げ。

★特別職の職員給与条例の一部を改正する条例

町長給与二十％、教育長給与十五％を一年間カット。

★職員の給与条例の一部を改正する条例

職員給与を平均四・八％引き下げ。

★課設置条例一部を改正する条例

総務課と税務課を総務税務課に、産業振興課と建設課を産業建設課にする。

議員提出議案

★議員の報酬条例の一部を改正する条例

議長、副議長報酬十％、議員報酬五％を一年間カット。

視察研修報告

総務産建常任委員会

日本一汚れた空が

星空の街に

北九州市のエコタウン事業は、環境未来都市の形成に取り組み、降下煤じん日本一を記録した空が、国から「星空の街」に選定されるまでに改善されました。

響灘廃棄物処分場は、民間企業九社で設立し、最新技術により埋立、水質浄化、排水処理を行い、適正な海上埋立によって生じる土地に物流ゾーンを建設する事を目的としています。



響灘産業廃棄物処理場を視察

火災警報器設置義務付け

三月一日、六日、七日、二十二日の四日間、委員会を開き十八年度予算案、火災予防条例の改正や課設置条例の一部を改正する条例などについて説明があり審議しました。

参事から 消防法が改正され、すべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられることなどについて説明がありました。

問 いつから設置が義務付けられるのか。また、罰則規定はあるのか。

答 参事 新築住宅は十八年六月から、既存住宅は五年間の猶予期間を設け、二十三年六月から適用されるが罰則規定はない。

参事から 課設置条例を一部改正し、六課を四課にする改正案の説明がありました。

問 議会に何の説明もなく、見切り発車的だ。拙速すぎるのではないか。

答 町長 今年度に十人の退職者があり、住民へのサービス低下にならないためにも四課体制を願っていた。

この問題は委員会で否決され、再度審議し追加提案することを了承しました。その他十七年度一般会計補正予算、町道認定など十八議案を審議、三月議会に提案することに同意しました。



▶ 設置が義務付けされる火災報知器

委員会ハイライト

公共施設利用者に応分の負担を

三月二日に委員会を開き、十七年度特別会計補正予算と十八年度予算の審議を行いました。

福祉課長から 横瀬、生比奈保育所のうち一カ所を、今後、民営化に向けて検討するとの説明がありました。

問 民営化するとサービスの差が心配され、運営が難しいのでは。

答 福祉課長 自治体への補助金はカットされるが民営化すれば交付される。

また、小松島市では民営の方がサービスの充実が図られているとのことである。



利用者に応分の負担を

問 今まで無料のナイター、体育館などの利用者負担を考えるべきだ。一律という訳にはいかないと思うので体協等と調整しては。

答 町長 財政的にも厳しいので受益者負担をお願いし、効率的に利用してもらいたい。

病院事務局長から 診療報酬の大幅改定が四月から実施され、それに伴う条例改正も必要になってくるとの説明がありました。

◎委員会として三月定例会に上程することを了承しました。

町長の基本方針は

中西晴美 議員



課設置条例 委員会否決を どう考える

今後十分協議して
いきたい
(町長)

問 総務委員会で、現在の六課を四課にする課の設置条例の一部改正案が否決されたが、どう考えているのか。

答 町長 急速に職員数おり、課を減らして住民サービスへの低下を招かないように対応したので協議させてもらった。今後、議会と十分協議していきたい。

問 町政に対する基本方針と重点施策は。

答 町長 活気と活力のある住みよい町づくり。町民との対話、行政改革、産業の振興、少子化対策、病院経営の安定、都市と農村の交流、広域行政の推進、市町村合併の九点を重点施策とした。



町長

病院運営費 なぜ当初予算に 計上しないのか

年度末に精算し補正で
(町長)

問

勝浦病院は四月一日から診療報酬の改訂が実施されるので、大幅な収入減が想定される。町長は所信表明で、病院の経営安定を図ると言いながら、建物の償却については当初予算で全額一般会計から繰出しているが、運営費も繰出しなくては経営の安定は図れない。なぜ当初予算に計上しないのか。

答 町長

厳しい病院経営ではあるが、年度末に精算し補正で対応したい。



補修が急がれる町道

町道改良費は 少なすぎる

問

総延長二十一万メートルの町道改良予算が三千五百万円では少なすぎる。道路の維持・管理をどのように考えているのか。

答 町長

昨年度より五百万円アップしている。原材料を支給するなどして危険度により順次対応していきたい。

今後の 財政運営は

問

現在の財政状況から見て、今後どう対応していくのか。

答 町長

十八年度は基金から、二億五千万円取り崩しての予算で非常に厳しい財政状況である。十九年度は地方交付税が削減される見通しで、今後は行財政改革を一層進めていきたい。

みかん産業への 支援は

問

産業の振興と言うがみかんに対しての予算が少ない。どう対応するのか。

答 町長

後継者や担い手不足など深刻な状況であるが、貯蔵みかんの産地化をめざし積極的に支援をしたい。

交流による町づくり

どう取り組むのか

観光協会や商工会と連携(町長)

松田 貴志 議員



問 ふれあいの里さかもとやビッグひな祭りは、都市と農村の交流拠点として運営・開催されているが、今後、交流による町づくりに取り組む中で、どのように連携を図り支援していくのか。

また、ふれあいの里さかもとは地元住民が中心となり、さまざまな町づくりに取り組んでいる。光熱水費

の町負担は十八年度限りということだが、他の地域にも波及させるため、モデル地区として今後も積極的に支援していく必要があると思うが。

答 町長

ビッグひな祭り、新聞やテレビでも取り上げられ県外から訪れる人も多くなり、坂本地区では軒先にひな人形を飾りつけ、奥座敷として新たな取り組みをしている。

「さかもと」の町費負担は五年間という約束になっているので、今後は国や県の町づくりへの補助金等を活用し支援していく。

また、観光協会や商工会と連携を図り交流人口増加に向け取り組んでいきたい。

インターネットを利用した町づくりを

問

光ファイバー網が整備され八月からほとんどの家庭でインターネットが簡単に利用できるようになる。この環境を最大限生かせるよう、団体関係等と連携し、インターネットを利用した町づくりに取り組むべきと思うが。

答 戸川参事

職員の情報化への意識を高め、よってネ市やふれあいの里さかもとなど各種団体と協議しながら、インターネットが十分に活用できるように取り組んでいきたい。



戸川参事

新教育長の方針は

学校にできるだけ足を運びたい(教育長)

問

学校、社会教育にどのような方針をもって取り組むのか。

また、施設の利用料見直しの中で、スポーツ少年団が利用する場合には今までどおり無料にする必要があると思うが。

答 教育長

小、中学校にはできるだけ足を運び要望等を行政に反映させたい。社会教育では生涯学習の中で生きがいを求め、社会参加できるように取り組んでいく。使用料については財政上無料化は難しいので負担の軽減を進めたい。



どう支援していく交流の町づくり

町の将来ビジョンは

活気と活力のある町づくり

(町長)

福徳重二議員



問 町長は勝浦町をどのような町にして町民の幸せにつなげるのか。また、目玉政策は。

答 町長

前町長の農業と福祉の町の

政策は継承し、加えて活気と活力のある町づくりを推進していく。

新年度予算の目玉は、就学前までの乳幼児医療費無

料化と、横小体育館の耐震改修である。

市町村合併への取り組み方は

問 今後、市町村合併にどのような取り組みをするのか。町長自ら積極的に乗り出していくのか。

答 町長

広域的に見ながら時間をかけて議会や町民と十分協議しながら進めていきたい。

柳原工区の

その後は

問 県道徳島―上那賀線の柳原工区拡幅改良が進まない。どうなっているのか。

答 島建設課長

条件整備が残

るものの、立木伐採や用地協力の了解を得たので、現在、実施設計の測量を準備中である。

町道西岡・田中線のかさ上げは

問 再三質問や要望をしてきたができる可能性はあるのか。

答 島建設課長

地元の理解と

協力、地権者の了解が得られれば年次計画を立て対応する。

スクールバス利用を全町的に

問 全国で子供の登下校時の事故が多く発生している。防止のためスクールバスを利用しては。

答 教育長

文部科学省の指導もあり、利用を検討する時期にきている。

CATV事業 町営住宅の宅内工事

問 町営住宅の宅内配線工事費用は、すべて町負担で行うのか。

答 戸川参事

公営住宅法二十一条の規定により、すべて町負担となる。

少子化対策 医療費七歳まで無料化を

問 乳幼児医療費が就学前まで完全無料化の予算が計上されているが、七歳まで無料化にしては。

答 町長

就学前までの無料化は四月以降実施するが、七歳までは考えていない。



島建設課長



町営住宅の宅内工事費は町負担

人口減少問題

雇用の場確保を

既存の企業と協議する（町長）

大西 一司 議員



問

人口の減少に歯止めがかからない。昨年の国勢調査では五年間で四百三十二人の減少となっている。雇用の場の確保や企業誘致等に積極的に取り組むべきだ。

また、県は少子化対策に積極的に取り組む方針を打ち出しているが、町の対応は。

答 町長

企業誘致には一生懸命取り組みたい。また、既存の誘致企業等と連携し雇用の拡大等について協議してみたい。

少子化対策として十八年度予算に就学前まで医療費の無料化を上程している。今後も子育てしやすい環境づくりを積極的に進めていきたい。

ごみ処理対策 今後の方針は

問

クリーンセンターは毎年多額の修繕費をかけているが、処理能力は低下している。今後の取り組みは。

答 町長

また、松茂最終処分場は来年から供用開始予定だが、搬入までの処理対策等の整備計画は進んでいるか。

新たな施設の建設は難しいので、民間委託の検討や近隣市町村とも協議し、早い時期に考え方を示したい。その上で地元関係者と協議を行いたい。

答 松下住民課課長補佐

最終処分場の受け入れ単価がまだ決まっていないが、搬入計画等は十八年度中に策定したい。



松下住民課課長補佐

勝浦高校 現状での存続を

一生懸命取り組み
（町長）

問

勝浦高校の存続問題は県の検討委員会で分枝化等で存続させると示しているが、本町にとって高校再編は極めて重要な問題であり、関係者と連携を図り現状維持を強く訴えていくべきだ。地域に根差し地域とともに生きる高校と

答 町長

の認識が広まれば、委員会も県民も存在を認めてくれるはずだ。幅広い取り組みの強化を。

関係者や地元もあり、町として存続に向け一生懸命取り組んでいきたい。

答 教育長

勝浦高校もさまざまな学校教育を行い存続に向け取り組んでいる。また、同窓会やPTA、町民にも応援して頂き現状で存続できるように望んでいる。



取り組みを強化し、現状での存続を

増える空き家の利活用を

現況を調査し取り組む（町長）

溝田 義昭 議員



問

近年、高齢者世帯の増加等で空き家が多くなり、横瀬地区などでは十軒に一軒の割合になっている。人口の減少に歯止めをかけるため、都会で働く団塊の世代が定年を迎える時期に合わせて、町が窓口となりリターン希望者等に空き家の情報を提供するシステムを構築してはどうか。

答 町長

空き家と共に荒廃農地も増えているのでセットにしての情報提供等も考えられる。また、リフォームして若い人が住めるような家にならないかも検討の余地があるので、持ち主の同意が必要なので、どの程度の空き家があり、どんな状況を十分調査するなど取り組んでいきたい。



危険な空き家対策を



松田 税務課長

古い空き家は危険 管理条例を 制定しては

消防法等で対応したい

（参事）

問

古い空き家で管理ができず、壊れるまま放置している建物が見受けられる。街なかの場合災害時等には危険であり、景観も損なうので町が指導できる体制が必要と思う。空き家の管理を義務づける条例等を制定しては。また、空き家やその土地の固定資産税に滞納はないか。

答 戸川 参事

危険防止については、消防法や火災予防条例で対応していきたい。

答 松田 税務課長

物件が居住住宅であるか空き家であるかの実態調査はしていないが、町外の人が所有している物件について滞納はほとんどないと認識している。

補助金見直し

第三者の意見も

聞くべきだ

担当職員で行う

（町長）

問

約二百団体に補助金、負担金等の支出があるが、毎年見直しを指摘しているにもかかわらず、ほとんどできていない。担当課に任せただけでなく、公正に判断できる第三者にも参加してもらうのが良いと思うが。

答 町長

行財政改革の中で十八年度中に十分活動内容を調査し、英断をもって実行していきたい。第三者に頼らず内容が分かる現在の職員で行う。

問

行財政改革により職員数が減る中で、国や県から事務が移譲され業務量は増える一方である。職員に頑張ってもらわなくてはならないが、やる気を起こさせるために何が必要と思うか。

答 町長

私も職員も危機感を持って意識の向上に取り組んでいきたい。

職員にやる気を 起こさせるには

生活の声を 聞いたことがあるか

出前講座で聞きたい (町長)

井出美智子 議員



立ち入って話を聞いた事はあまりない。町づくり出前講座で要望等を聞き、町政に反映していきたい。

東部広域農道への投資に疑問

東部広域農道負担金が三千万円予算化さ

問 町長は後援会報で「町議、助役として町政に参画し、じかに町民の暮らしを見て来た」と述べているが、お年寄り世帯や農家の声など町民の暮らしの状況を実際に聞いたことがあるのか。

答 町長 道路など生活環境の要望はよく聞いたが、生活にまで

れているが、今までどおり事業を続けることに意味があるのか疑問だ。「財源難なのに、利用度の低い山の上の道になぜ投資するのか」との住民の声もあるが。

答 町長 現在、七十%の進ちよく状況であるが、必要最少限の経費で平成二十五年度の完成をめざしたい。

乳幼児医療費無料化はどんな方法で

問

県も十月からの無料化策を発表したが問題もある。六百円の自己負担と、窓口で医療費を全額支払い、後で戻ってくるやり方になること。また、入院の食事代が自己負担となることや、高所得世帯は恩恵を受けられない場合があ

ることなどである。町はどんな方法で無料化に取り組むのか。

答 町長

窓口で負担しなくていい方法で行い、完全無料化の方



町長

保育所の民営化は決めているのか

これから検討したい (町長)

問

正規の保育士を雇用せず、臨時職員で対応しているが、町内二保育所のうち一保育所を民営化するという考えからか。

答 町長

十八、十九年度に民営化の検討をして結論を出したい。

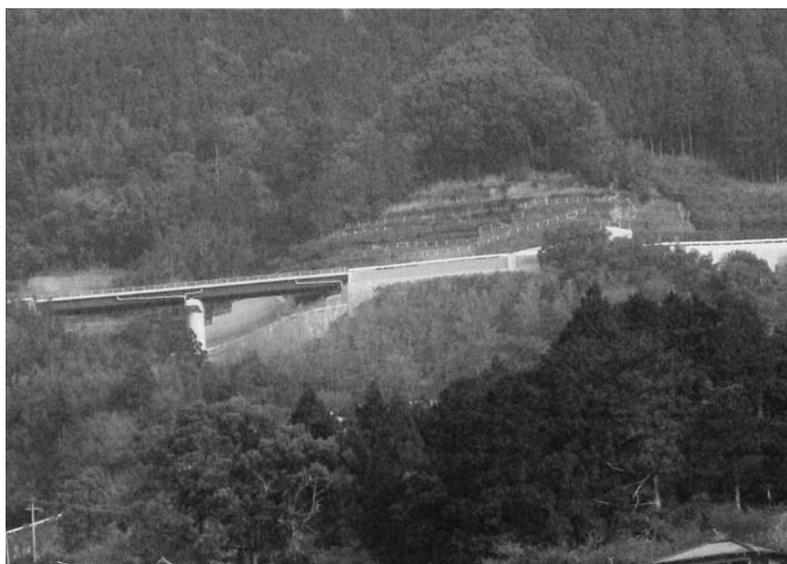
CATV事業 加入できない人への対策を

問

料金負担ができないために加入をあきらめた世帯を切り捨てるようなやり方でなく、加入できるようにする対策を講じるべきでないか。

答 町長

制度的に見て、今以上の事は考えていない。



利用度の低い道になぜ投資

自主防災組織

年度内二地区結成は

可能か

補正で対応したい（町長）

川端雅夫 議員



も必要と考えているので、複数の地区があれば補正で対応したい。

企業誘致 用地の確保が 一番では

問 商工業の振興策の中で企業誘致を進めて

行くと言うが、用地の確保が必要不可欠ではないか。船井電機用地の買い上げも含め交渉してみては。

答 町長 企業誘致は現時点では難しいと思っているが、雇用の場の確保と言う面からいろいろ

んな所で話をしてみたい。船井電機の跡地について

問 現在、町内七地区で自主防災組織が結成されている。十八年度は石原地区を予定しているが、年度内に他の地区も結成する場合、どう対応するのか。

答 町長

災害、地震などに備え地元

の組織が立ち上がる事が最

は、池田町で無償で譲渡されたと聞いているので、大阪本社に行き話をしたいと思っている。

勝浦病院の 経営安定化策は

問

十八年度の見通しては、入院患者が年間二千二百人、外来患者が二千百十八人減ることが予測されている。町長は経営の安定を図ると言っているが、今後、どのような安定化策があるのか。

また、医薬分業についての考えは。



幸野病院事務局長

答 幸野病院事務局長

診療報酬の改定や、医療機器の買い替えなどが予想され、これ以上の収益の見込みはない。現在、薬剤師三人で院内

小、中学校教員の 交流を

問

不登校や授業についていけない子供たちのために、小・中学校の教員同士が交流することによって少しでも問題が解決されると思うが。

また、教員資格があっても、指導力不足の人はいないのか。

答 教育長

教員同士の交流について

では、小・中学校両方の免許を必要とする。そういった教員がいれば教育委員会に働きかけて、交流により不登校や授業についていけない子供たちに対応していきたい。

また、不適格教員は県下で九人位と聞いているが、町内三校にはいない。



船井電機跡の買い上げ交渉を

所信表明

自己反省が一番では

謙虚に反省したい（町長）



西浜勝己 議員

問 所信表明で「議会、理事者、職員一丸となって」と言われたが、地元や議会で混乱を引き起こした自らの行動に何の反省もない。また、町長に就任してからも、基本姿勢に配慮のなさが伺えるが、どう認識しているのか。

答 町長 今後、そのような事がないよう謙虚に反省したいので、町政がスムーズに運営できるように協力願いたい。

今なぜ 課設置条例改正か

問 委員会で課設置条例改正の説明があったが、昨年三月定例会で六課を三課にする案が提出され否決している。

その後一度も審議されていない。前もって議会に大筋の了解を得る事が大切でないか。

答 町長 否決されてから、議会と審議の場を持つことがなかったことは深くおわびしたい。

事業予算の拡大を

問 町道改良や南部農免農道、地籍調査などの事業予算拡大に向けての取り組みは。

答 町長 町道は原材料の支給を拡大するので、地元関係者で対応をお願いしたい。

また、農免農道の未採択部分は早期採択に向けて取り組んでいく。

地籍調査は予算の増額があれば複数地区での取り組みも検討したい。

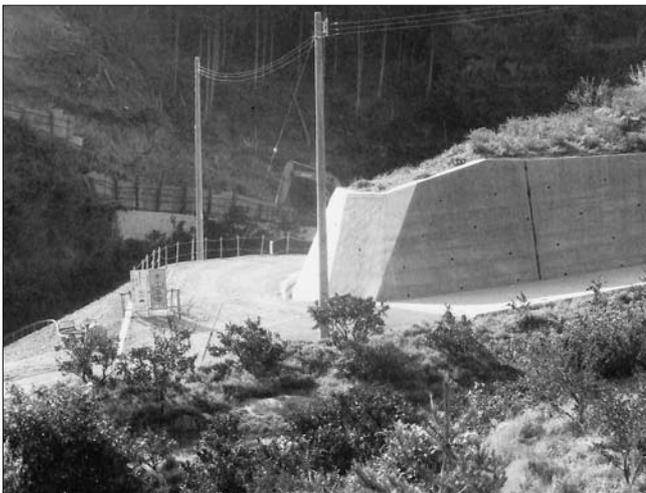
南海地震

畑総、簡水

クリーンセンターへの影響は

問 南海地震が発生した場合、畑総事業、簡易水道、クリーンセンターなどへの影響と対策は考えているのか。

答 町長 畑総については、特別措置法の規程に基づき耐震対策事業の調査をしている。簡易水道は防災計画の中にはあるが、現在、十分煮



早期完成が望まれる南部農免農道

詰まっていない。道路の崩壊等が予想されるクリーンセンターは、今後、民間委託や広域的な取り組みを検討していく。



教育長

教育予算の目玉は

横小体育館の耐震補強（教育長）

問 予算要求で何に重点を置いたのか。また、第二十八次地方制度調査会の答申に対しての所見は。

答 教育長 横瀬小学校体育館の耐震補強と地域子供教室推進事業である。調査会の答申では教育委員会制度を廃止すべきとの意見もあるが、地域住民の意向を反映させるためには委員会が必要と思う。

元気が一番

私阪神巨人



田中房一さん（棚野）
明治45年6月1日生（93歳）

当時住んでいた家が焼き払われましたが、妻と幼い長女はたまたま実家に帰っていて無事でした。

Q 長生きの秘けつは。

A 家族に迷惑をかけないよう健康に気をつけ、早目に病院や接骨院に行くように心掛けています。

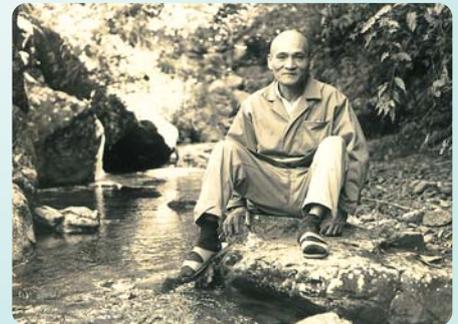
五年くらい前に糖尿病になり、大好きだった晩しやくをやめました。

Q 趣味はどんなことですか。

A 二十年くらい前から始めた写真です。子供たちに紅葉や桜の名所に連れて行ってもらう、撮影するのが最高の楽しみです。アルバムは四十冊を超えました。

Q 好きな食べ物はありますか。

A 柿・みかん・ぶどうなどの果物です。庭に柿の木がありますが、糖尿病で食べれんのがツライ。



▲ 40年前

Q 最近の楽しみは。

A 天気の良い日はセニアカーで「よつてネ市」に行きます。

テレビを見るのが好きで、政治に関心があり、よく国会中継を見ます。

Q 最近思うことは。

A 昔の写真をみると、若かったころや先立った友人のことを思い出します。

Q これから望むことは。

A 今後も家族に心配かけないように、夫婦仲良く元気に過ごしたいと思っています。

編集後記



春は桜。日本人の心のふるさと。桜の花をよく見ると、みんな下に向かって咲いている。この奥ゆかしさが人に好かれる要因になっているのではないかな。花も美しいが「花より団子」と町内あちこちで花見の宴が催されている。酒を飲む人、飲まれる人、さまざまである。昔から近所の人たちと酒を酌み交わすことよって、「コミニケーション」を図ってきた。しかし最近では自分の主張は目一杯言う代わりに、人の意見に耳を貸さない。だから人間関係が希薄になって行く。阪神大震災の被害者の「隣近所の付き合い」とい

う最も大事なことを忘れていたこの言葉を思い出す。

（雅夫）

